



大阪ガス

ガス炊飯電子ジャー

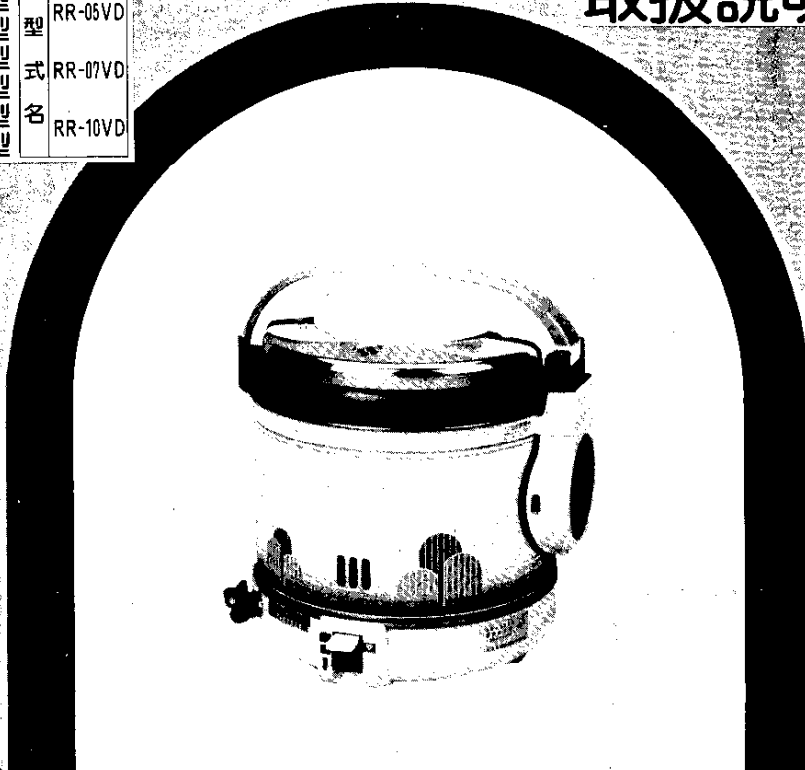
強火だき

パッパ

保証書付

# 取扱説明書

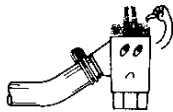
11-810型	型 式 名	RR-05VD
11-811型		RR-07VD
11-830型		RR-07VD
11-831型		RR-10VD
11-850型		RR-10VD
11-851型		



## ガス器具をお使いになる時のご注意



ガスゴム管も  
ときどき点検  
よいゴム管を  
カッチリと



ガス器具を  
お使いになった  
あとは必ず  
もとコックも  
閉める習慣を



使用中は、熱  
くなります。  
手をふれない  
てください



ガス器具は  
ガスの種類にあった  
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

## ごあいさつ

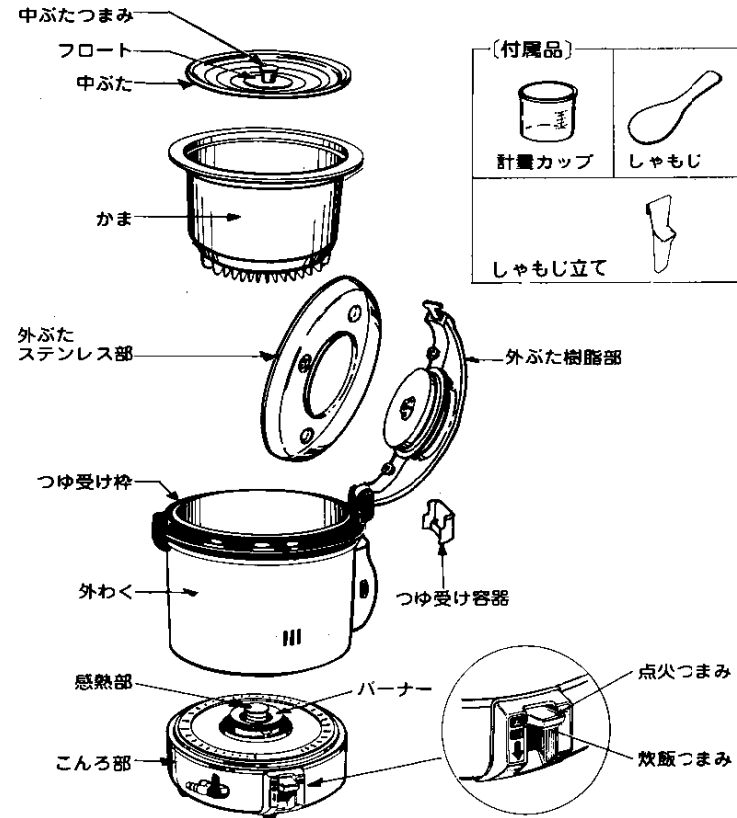
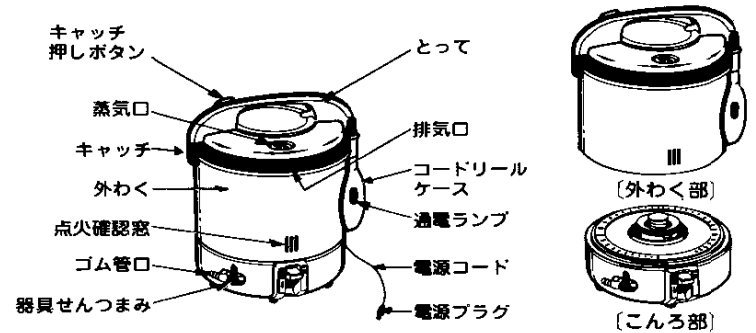
このたびは、大阪ガスのガス炊飯電子ジャーをお求めいただき、ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

## もくじ

- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 器具の設置..... 10
- 使用手順..... 12
- 使用時のご注意..... 19
- 日常の点検・手入れ..... 24
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 26
- 長期間使用しない場合..... 27
- アフターサービスのお申し込み..... 28
- 寸法図と仕様一覧表..... 29

## 各部の名称



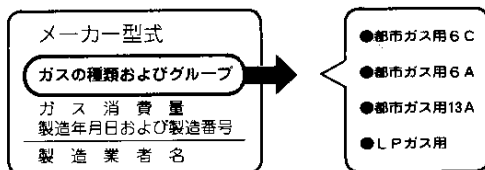
## 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

### 使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- こんろ部の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

(銘板)



- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

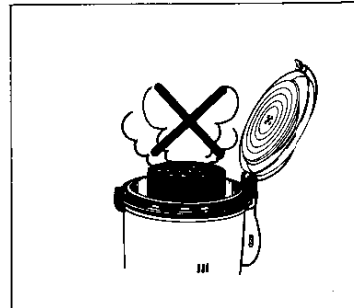
### 使用電源についてのご注意

- この器具の電源は、AC100Vです。  
これ以外の電源では、絶対に使用しないでください。

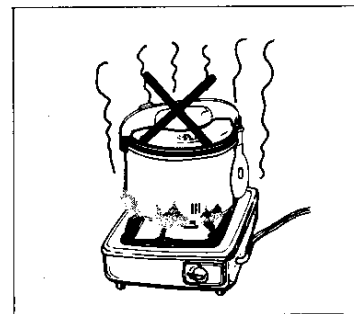
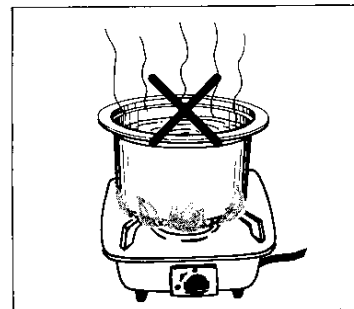
## 特に注意していただきたいこと②

### 用途についてのご注意

- この器具は、炊飯専用ですから炊飯以外の用途(炭・練炭おこし等)には、絶対に使用しないでください。  
故障や異常燃焼の原因になります。



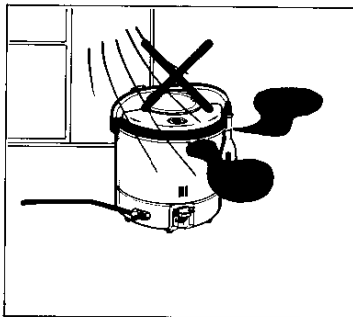
- この器具のかまは専用のかまですから、他のこんろには使用しないでください。  
もし使用されますとかまがいたんだり、こんろが異常燃焼したりします。



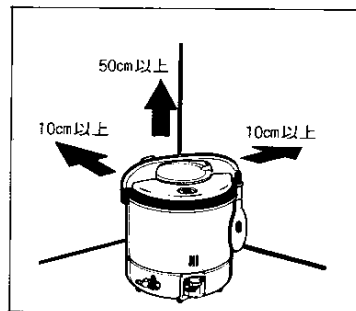
### 特に注意していただきたいこと ③

#### 使用場所についてのご注意

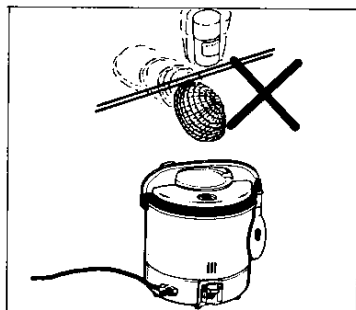
- 器具へ直接強い風があたりところでは使用しないでください。風で火が吹き消されたりします。



- 側面および後面は壁から10cm以上、また上部は50cm以上離してください。

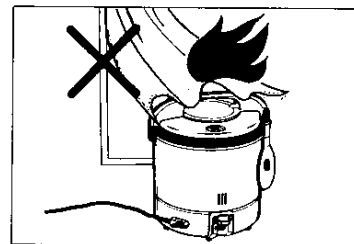


- 器具はたなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

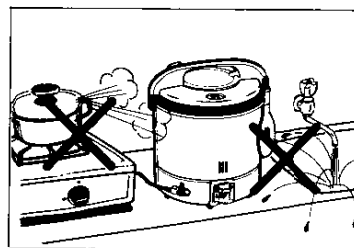


### 特に注意していただきたいこと ④

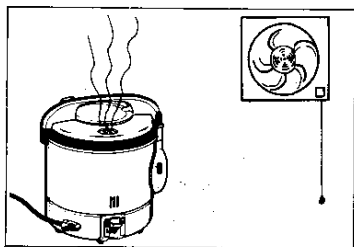
- 器具は、カーテンや燃えやすいものそばでは使用しないでください。



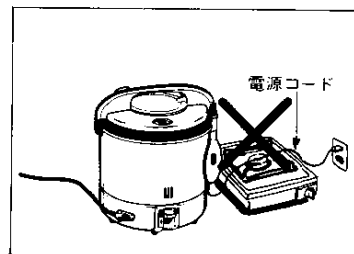
- 水のかかるおそれのあるところでは使用しないでください。
- 湿気の多い所では使用しないでください。
- 他の熱源の近くでは使用しないでください。熱による変色や変形するだけでなく、不完全燃焼の危険があります。



- ガス元せんに手がとどきやすく、またガス元せんに熱気がかからないところに置いてください。
- 十分換気のできる場所でお使いください。



- 電源コードが他の熱源などの高温部分にふれたりしない場所でお使いください。



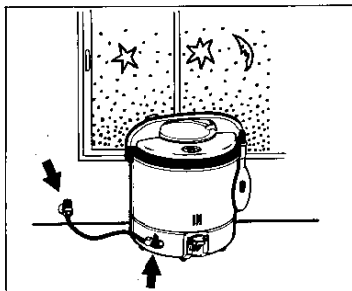
## 特に注意していただきたいこと ⑤

### 使用上のご注意

#### ガスもれ予防

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを買い、時々とりかえてください。(ゴム管の寿命は約3年です。) ゴム管が古くなりますと、元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガスもれの原因になり危険です。

- 炊飯終了後は必ず消火したことを確かめて、ガス元せん、器具せんをとじてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ずとじてください。



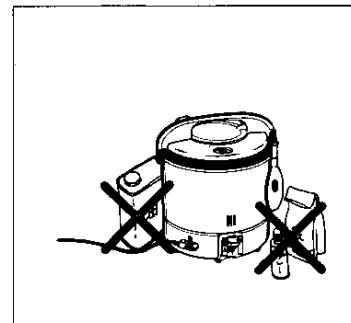
- 炊飯中は外出しないでください。バーナーの火が風で吹き消えたり、ふきんなどが器具の上落ちたりすると危険です。



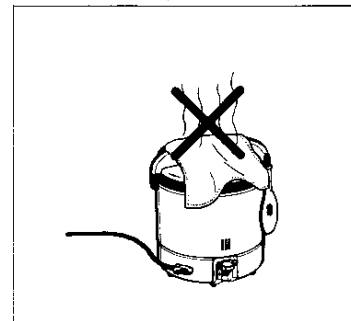
## 特に注意していただきたいこと ⑥

### 火災予防

- 器具の上や周囲には紙袋やエアースー  
ル缶等の可燃性・引火性のあるものは絶対に置かないでください。

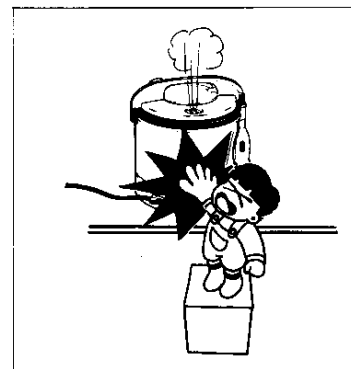


- 使用中、蒸気口、排気口は高温になるため、タオルやふきんなどを置かないでください。  
また排気口をふさぐと排気不良による不完全燃焼となり危険です。



### やけどのご注意

- 点火するときは、点火確認窓に顔をあまり近づけないようにしてください。
- 使用中や使用後しばらくの間は、外ふたや、外わく、蒸気口、排気口など器具のまわりが高温になっていますので手をふれないでください。  
とくに小さなお子さまにはご注意ください。



## 特に注意していただきたいこと ⑦

### 換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。  
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
- お部屋の換気口(給気口・排気口)は常に確保し、物などでふさがないでください。

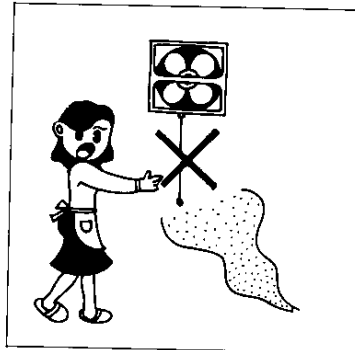
### ガス事故防止

- ガスもれに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんをとじ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。



### 《ご注意》

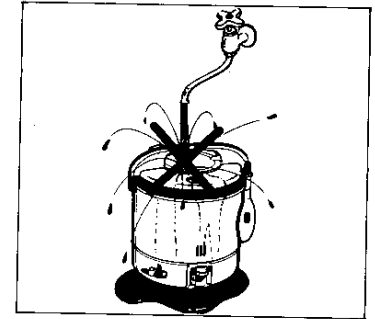
万一ガスがもれたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。  
(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。



## 特に注意していただきたいこと ⑧

### 電気事故防止

- 器具には電気部品が組込まれていますので、器具に水をかけたり、丸洗いは絶対にやめください。  
電気絶縁が悪くなり感電事故等のもたになります。



- ご使用前に、電源コード、電源プラグなどを点検してください。特に電源コード、電源プラグをいたんだまま使用しますと、火傷、感電、火災などの原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、本体に触れた際、少しでも漏電してましたらすぐ使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き、大阪ガス社・サービスショップに連絡してください。

### 異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのまま使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して、十分な点検をお願いします。  
[故障・異常の見分け方と処置方法については26ページをお読みください。]

### 日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは24ページをお読みください。)
- 万一具合が悪くなった場合は、26ページの「故障異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。それでも不具合な場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。  
不完全な修理は危険です。

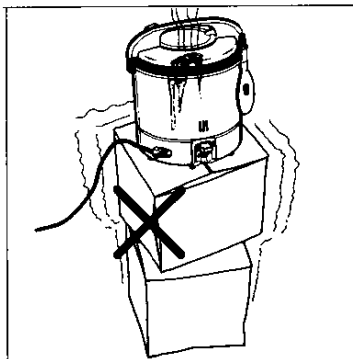
## 器具の設置

### 設置前の準備と確認

- パッキングケースから器具を取り出し、包装用材料を取り除いてください。器体の銘板に表示してあるガスの種類および電源が、お宅の使用ガスおよび電源と一致しているかどうか確かめください。
- 1ページの「各部の名称」をご参照の上、器具の部品および付属品をお確かめください。
- 器体はきれいな布で拭いてください。かま・中ふた・しゃもじ・計量カップなどは、中性洗剤で洗った後、きれいな布で水気を拭きとってください。
- 1ページの「各部の名称」をご参照の上、器具を正しく組合せてください。
- 水平でしかも丈夫な台の上に置いてください。傾斜した場所に置きますとうまく炊飯ができません。
- 十分換気のできる場所に設置してください。
- 器具の上や周囲には可燃性・引火性のあるものは絶対に置かないでください。
- ガスの元せんに手がとどきやすく、またガス元せんに熱気がかからないところに設置してください。
- ごんろなど他の熱源から、はなして設置してください。

### 設置上のご注意

- 器具は丈夫で水平な台の上に置いてください。

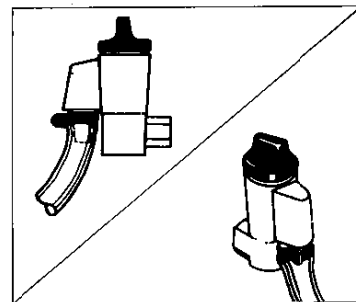


## 器具の設置②

### ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりとめてください。

9.5mmφのゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんとともゴム管口の赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。



- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
- ゴム管は古くなりますと元せんや器具のゴム管口から抜けやすくなったりヒビ割れを生じます。ゴム管もときどき点検して3年ぐらいを目安に新しいものとお取りかえください。
- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐はしないでください。
- ゴム管は直射日光があたらないようにしてください。いたみがはやくなります。

### 電源コードの接続

- 電源コードは、器体の表面、排気口や他の熱源などの高温部分にふれたり、途中での折れ、ねじれ、引張りなどの力がかからないようにしてください。

# 使用手順

## はじめてお使いのとき

- 外ぶた、外わく、こんろ部はきれいな布で拭いてください。  
かま・中ぶた・しゃもじ・計量カップなどは、中性洗剤で洗った後、きれいな布で水気を拭きとってください。

## お米の洗い方

### ①お米の分量を正しくはかります。

- お米は付属の計量カップ(1杯約0.18ℓ)で正しくはかってください。

計量カップの容量

計量カップの容量(杯)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
リットル(ℓ)	0.18	0.36	0.54	0.72	0.90	1.08	1.26	1.44	1.62	1.80	1.98

(注)0.18ℓ=1合です。

### ②お米を洗います。

- かまのフッ素樹脂被膜に傷をつけることがありますので、お米は必ず別の容器で洗ってください。
- はじめにお米を入れた容器にたっぷり水を入れ、手ばやく2~3回かきまわし、すぐに水を捨て、お米のぬかやゴミを洗い流します。その後3~4回水をかえて洗ってください。水とぎが不十分ですと保温のとき、米ぬかの臭いが残ることがあります。
- お米を「ゴシゴシ」と洗いすぎますと米粒が割れて小さくなり、うまく炊飯できないことがありますのでご注意ください。

### ③洗ったお米は水につけておきます。

芯のない、おいしいご飯を炊くため、お米は30分から1時間位水につけておいてください。

# 使用手順②

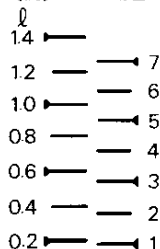
## 水加減

かまの内面には、図のように水位目盛を表示しています。  
ご飯の好みや銘柄、古米、新米によって水量を加減してください。  
手の加減や感覚で水量をきめることはしないでください。

(例)

※お米を計量カップで7杯入れたときの水量は、かまの内面に表示してある水位目盛の右側「7」の線に合わせます。またお米を1.4ℓ入れたときの水量は、水位目盛の左側「1.4」の線に合わせます。

(例)1.4ℓの場合



(お願い)

- ※「計量米びつ」によっては、扱い方によって出てくるお米の量が違うこともありますので付属の計量カップで確かめてください。
- ※水加減は、米の質(産地による米の質の違いもあります)によっても大きく変わる場合がありますので、かまに表示してある水位目盛はあくまで目安としてお使いください。
- ※粉末を使用されますと、炊飯できないことがありますので炊飯される前にお米の点検をお願いします。

## 点火前の準備と確認



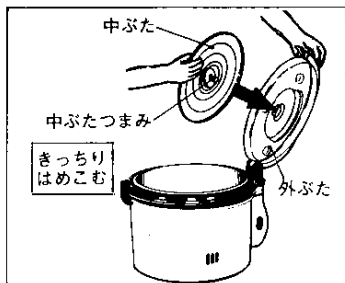
### ①かまを外わくにセットします。

- かまの裏底についた水は点火不良やバーナーの目づまり、不完全燃焼の原因になりますので、きれいに拭きとってください。
- 外わくの内側、かまの裏底に、米つぶ、食品屑などが付着しますと、正常に炊飯できないことがあります。かまをセットするときは、必ず点検してください。

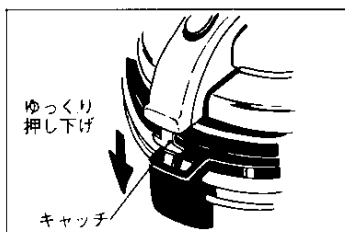
米つぶ・食品屑などが付着していないか点検する



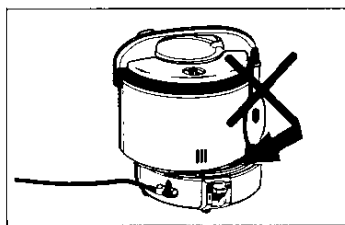
### 使用手順③



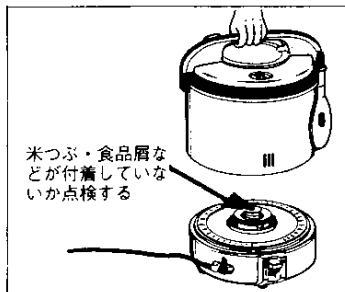
- ②中ぶたを外ぶたにセットします。  
図のように中ぶたを持ち、片方の手で外ぶたをささえ中ぶたつまみを外ぶたの取付穴にきっちりとはめこんでください。



- ③外ぶたをセットします。  
外ぶたに中ぶたが確実にセットされていることを確認して、とってを手で持ちキャッチが確実にかかるまで、ゆっくり押し下げます。



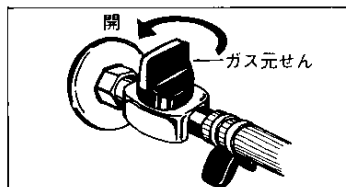
- ④外わく部をこんろ部に正しくセットします。  
●外わく部を正しくセットしないと、炊飯できません。



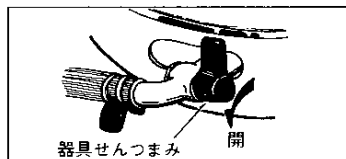
- こんろ部のしる受け、感熱部に米つぶ・食品屑などが付いていますと、正常に炊飯できません。外わく部をセットするときに点検して、必ず取り除いてください。

### 使用手順④

#### 点火

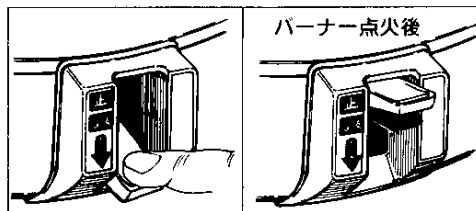


- ①ガス元せんをあげてください。  
器具せんつまみ、炊飯つまみが「**止**」の位置(上部)にあることを確かめてから、ガス元せんをあげてください。また、ガス元せんは必ず全開の状態でお使いください。



- ②器具せんつまみをあげてください。  
炊飯つまみが「**止**」の位置(上部)にあることを確かめてから、器具せんつまみをあげてください。

③バーナーに点火します。

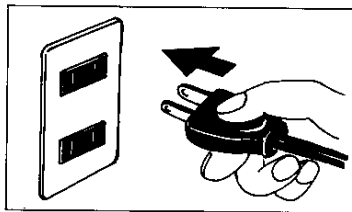


点火つまみを下へ「カチッ」と音がするまでゆっくりと押し下げ、バーナーに点火してください。  
点火操作時は、必ずバーナーに点火したことを確かめてください。

#### 〈ご注意〉

- 初めてご使用になるときや長い間ご使用にならなかったときなどは、1回の点火操作で点火しないことがあります。このようなときは、ゴム管の中の空気が抜けるまで連続して数回点火操作をくり返してください。  
それでも点火しないときは、炊飯つまみを「**止**」の位置(上部)まで引き上げ、26ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。
- ゴム管内に空気が入っている場合、一度バーナーに点火しても消失することがあります。確実に点火していることを確かめるまで、その場をはなれないでください。(数秒間)
- 炊飯つまみが「**炊飯**」の位置ではバーナーに点火してなくてもガスは出ています。このような状態が5秒以上続かないようにしてください。そのまま点火しますと大きな点火音と共に炎があふれることがあります。  
万一吹き消えなどで5秒間以上ガスが出た場合は、炊飯つまみを「**止**」の位置まで引き上げ、ガスの臭いが消え、さらに数分間待ってから点火操作をしてください。

## 使用手順⑤



### ④電源コードの差し込み

バーナーに着火したことを確認して、電源プラグをコンセントに差し込みます。コードリールケース前部の通電ランプ(オレンジ色)が点灯し、通電したことを示します。

(1)電源コードの出しかた  
電源プラグを引っぱりますと、電源コードが出てきます。赤印が見えたら、これ以上は引っぱらないでください。



赤印

※電源コードを出し入れする際には電源コードをねじったり、手で無理やり押し込んだりしないでください。自動的に巻き込まないようにします。

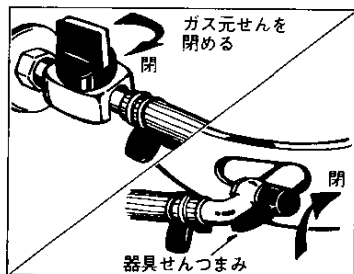
(2)電源コードのしまいかた  
電源コードをかるく引っぱって戻しますと、自動的に巻き込まれます。



## 炊飯

- 炊飯の途中でバーナーの炎が自動的に小さくなります。
- このガス炊飯電子ジャーは、おねばにうっすらとコゲがつくことがあります。これはご飯をおいしく炊くために高温状態を長く保っているためです。

## 消火



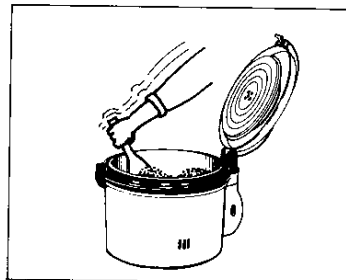
ガス元せんを閉める

器具せんつまみ

- 炊飯が終ると、バーナーは自動的に消火し、炊飯つまみは元の位置に戻ります。
- 消火を確認してから器具せんつまみ・ガス元せんを確実にしめてください。

## 使用手順⑥

### むらし

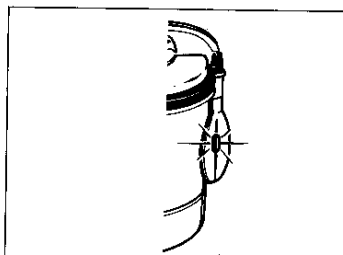


- バーナーが消火してすぐにふたととりますと、おいしいご飯になりません。消火してから、必ず15分以上むらしてください。
- むらしが終わったあと、ご飯をよくほくしてください。
- ①とってのキャッチ押しボタンを押して静かに外ふたをあけます。
- ②付属のプラスチック製しゃもじでご飯をよくほくしてください。

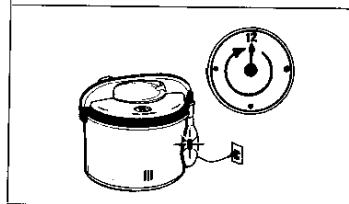
### 〈ご注意〉

木製のしゃもじをお使いになりますと、ご飯に臭いが移ったり、雑菌が入ることがあります。なるべく付属のプラスチック製しゃもじをお使いください。

## 保温



- 電源プラグをコンセントに差し込んだまましておきますと、炊飯終了後、保温を続けますが、コードリールケース前部の通電ランプ(オレンジ色)が点灯していることを確認してください。

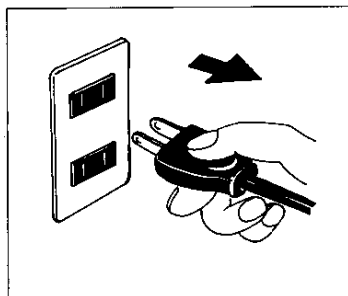


- 保温時間は12時間までにしてください。保温時間が12時間以上になりますと、イヤなおいがしたり変色しやすくなります。ご飯はできるだけ早目にお召しあがりください。

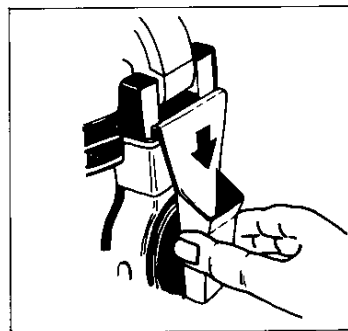
## 使用手順⑦



- 保温中、食事中は必ず電源プラグを差し込んだままにしてください。  
炊飯終了後、別の場所で保温される場合でも、電源プラグを別のコンセントに接続し、保温を続けてください。



- 保温終了後は必ず、電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコードリールに収納してください。  
電源プラグをコンセントから抜く場合図のようにプラグを持っておこなってください。コードを引っばりますと、断線することがありますので、絶対におやめください。  
※電源コードをコードリールに収納する際には、電源コードの汚れを拭き取ってください。汚れたまま収納するとコードリールの故障の原因になります。



- 付属のしゃもじ立ては、図のようにつゆ受け容器上部に差し込んで使用してください。  
※使用後は、きれいに水洗いしてください。

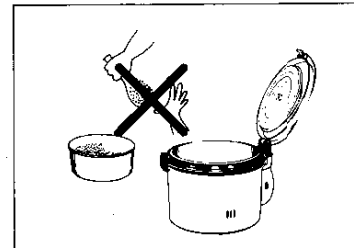
## 使用時のご注意

### 保温について

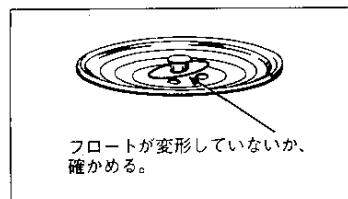
保温したご飯をおいしく召しあがっていただくために、次の点にご注意ください。



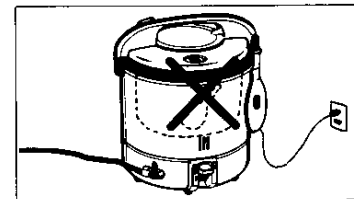
- なるべくかま周囲にご飯粒がつかないようにほくしてください。  
かま周囲についたご飯粒は乾燥してバサバサになることがあります。
- ご使用中かまや中ぶたのふちにこびりついたご飯粒は、ぬれフキンできれいに拭きとってください。  
ご飯粒がついてますと、かまと中ぶたの密着が悪くなり蒸気が抜けて、うまく保温できません。



- 冷えたご飯の保温はおやめください。  
保温効果がさがり、いやな臭いのもとになります。  
また同様に保温しているご飯の上に冷えたご飯や炊きたてのご飯を入れてください。
- ご飯が少量になる程、バサバサになったり、黄ばみやすくなります。
- ませご飯・赤飯などは保温しないでください。



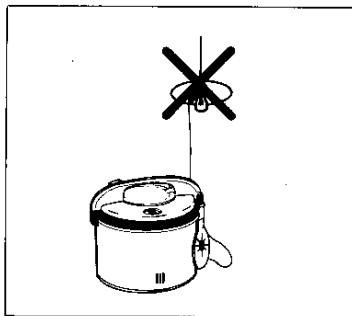
- 中ぶたのフロートが変形していないかお確かめください。  
中ぶたのフロートが極端に変形していますと保温中に蒸気が抜けてご飯が乾燥します。



- かまの中にしゃもじを入れたまま保温しないでください。
- なるべく付属のプラスチック製しゃもじをお使いください。

## 使用時のご注意 ②

- 保温はすべて電気でおこなってください。
- ご飯以外の保温はしないでください。  
ご飯以外のにおいが、かまについたり、ご飯以外のものが変質することがあります。(例えば、みそ汁・スープなど)
- 保温中、外ふたは確実にしめておいてください。  
保温効果を高めるためにも、外ふたの開閉はできるだけ少なくしてください。
- 保温中、停電したときは、短時間(約10分以内)なら問題ありませんが、長時間になってご飯の温度が下がってしまった場合は、再度保温しないようにしてください。
- 電源は正しく配線されたコンセントからおとりください。
- 保温中、外わく部を移動させる場合は、電源プラグを別のコンセントに接続し保温を続けてください。
- 外わく部だけで保温する場合は、平らな所に置いてください。
- お手入れが不十分な時には、保温したご飯にいやなにおいがつくことがあります。おいしくお召しあがりいただくためには24ページをご参照の上お手入れを十分にしてください。



## 器具の取扱いについて

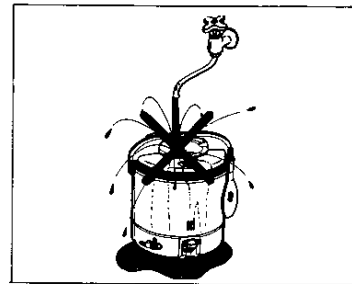
- 器具を持ち運びされる際には、外ふたが確実にしまっていること、また電源プラグをコンセントから抜いていることを確認してください。
- 器具を持ち運びされる際は、とって部のキャッチ押しボタンには触れないでください。不意に外ふたがあき危険です。
- 外ふたの開閉は静かにおこなってください。
- 付属のしゃもじは、ご飯以外(いためもの、汁ものなど)には使用しないでください。いためものなどに使用されますと、しゃもじがこげたり、溶けたりすることがあります。

## 使用時のご注意 ③

- 電源コードは必要な長さだけコードリールから取り出して使用してください。また使用中は、本体・排気口などに触れないように、コンセントに接続してください。



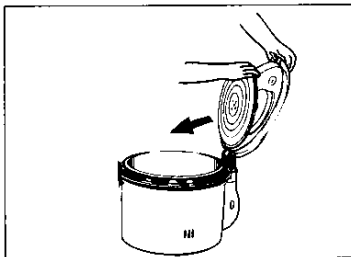
- 器具には電気部品が組込まれていますので、器具に水をかけたり、丸洗いは絶対にやめください。
- 米を洗って水につけているときは、電源プラグをコンセントに差込まないようにしてください。お米がふやけて、ご飯が炊けなくなります。電源プラグは点火するときに、コンセントに差し込んでください。



- 外ふたをしめたとき少しガタつくことがありますが、中ふたは、かまに密着していますので特に問題はありません。
- 他のこんろの近くでお使いになられた場合、料理の油などが器体本体についたなくなります。できるだけこんろからはなして設置してください。もし本体に油などがついた場合は、できるだけ早いうちによくしぼった布で拭きとってください。
- 炊飯および保温は、必ず中ふたおよび外ふたを取付けておこなってください。
- かまの内側に刻印してある水量目盛を参考にして水加減してください。極端に水量を多くして炊飯しますと、ふきこぼれますのできをつけてください。
- かまや中ふたを落したり、物にぶつけたりしないでください。炊飯性能や保温効果が低下します。
- 中ふたのフロートは樹脂製ですので、お手入れの際、無理な力を加えると変形することがあります。
- この器具は炊飯専用です。おかゆや汁ものを作ったりしないでください。吹きこぼれたり、かまが腐蝕したり、いやな臭いがついたりします。
- 酢を入れて炊飯するのはやめてください。かまが腐蝕することがあります。
- 保温中、食事中にテーブルの上に置いた外わく部を押したり、引っぱったりして移動させないでください。テーブルに傷がつくことがあります。

## 使用時のご注意 ④

- 中ぶたを外ぶたより取り外すときは、  
図のように中ぶたを持って片方の手で  
外ぶたをささえて行なってください。
- ませご飯を炊かれる場合は、こげるこ  
とがあります。
- こんろ部の感熱部には物をあてないで  
ください。感熱部が故障し、正常に炊  
飯できなくなります。



## フッ素樹脂加工のかまの取扱いについて

お手入れの簡単なフッ素樹脂加工のかまの特長を十分に発揮させてい  
ただため、次のようにお使いください。

- しゃもじは、付属のものを使い金属性のものや、先のとがったものは使わない  
てください。
- みがき粉やかたいタワシなどは、使用しないでください。スポンジを使用し洗  
剤溶液で軽く洗っていただくだけできれいになります。
- かまのフチをかたいものなどに当てないでください。
- 万一フッ素樹脂加工面に傷がついてもご飯の炊き上りになんら支障はありませ  
ん。
- かまは、変色することがありますが、ご使用上の支障はありません。

### 〈ご注意〉

フッ素樹脂加工は、永久的ではありません。水質やご使用方法などにより異な  
りますが、しばらくお使いになりますと、ピンホール(針先程度の穴)や剥離が  
発生してきます。ピンホールや剥離が発生しても当初はフッ素樹脂の性能には  
影響ありませんし、衛生上も問題ありません。しかし、著しく性能が低下して  
ご使用に不便をきたすようになりましたら、かまだけをお買上げの店で買いか  
えてください。

## 使用時のご注意 ⑤

### 万一イヤなにおいがついたとき

万一、電源プラグの差し忘れ等で一旦イヤなにおいがついた場合は、  
それ以後の保温でイヤなにおいがつくおそれがありますので、次の炊  
飯をする前に下記の要領で自動消火するまで煮沸してください。

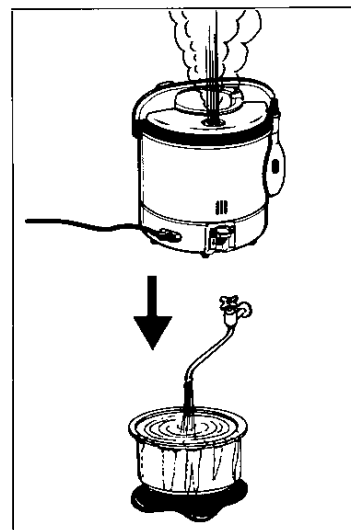
- よく水洗いしてもイヤなにおいがついたときは、次の要領で、かまや中ぶたの  
煮沸をおこなってください。

①かまに付属の計量カップ一杯の水を入  
れます。

②かまを本体にセットし、炊飯の要領で  
点火し水がなくなって自動消火するま  
で煮沸してください。

③②で自動消火した後、かまや中ぶたを  
よく水洗いしてください。

※消火直後は、かまや中ぶたは、あつ  
くなっていますので取扱いには十分  
に注意してください。



- 上記の煮沸をしていただくとともに、正しい保温のしかたをもう一度お確かめ  
いただき、イヤなにおいが再びつかないように正しくお使いください。
- 正しく保温していただくための各ご注意点が守られていない場合は、煮沸をお  
こなっても再びイヤなにおいがつくことがあります。
- 1回の煮沸で完全ににおいがとれない場合は、煮沸をもう一度繰り返してくだ  
さい。

# 日常の点検・手入れ

## 点検・手入れの際のご注意

- お手入れされるときは、必ずガス元せんを開め、電源プラグをコンセントから抜いてください。また器具が加熱しているときは、さめてからおこなってください。
- ガスの通路部分、電気回路部分は絶対に分解しないでください。
- ふきこぼれたときは、その都度お手入れをしてください。そのまま放置しておくと、塗装部分がはがれたりすることがありますのでご注意ください。
- お手入れの際には、金属タワシは使わないようにしてください。

## 点 検

- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- 器具の上や周囲に燃えやすいものをおいていませんか？
- ゴム管が古くなってひび割れたり、器具に触れたり、折れたり、ぬじれたりしていませんか？
- ゴム管はゴム管口の赤線まで差し込まれ、ゴム管止めで止めてありますか？

## お手入れ

### ●かま・中ぶた

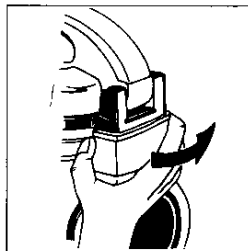
- スポンジや、布などのやわらかいものを使い洗剤溶液で洗ってから乾いた布で水分を拭きとってください。
- みがき粉や固いタワシなどは、傷がつきますので絶対に使わないでください。
- 特に中ぶたのフロートの下はよく洗ってください。

### ●つゆ受け容器

- つゆ受け容器にたまった水は、炊飯のつど捨て、中をきれいに洗ってください。

#### 〔つゆ受け容器のはずし方〕

つゆ受け容器のはずし方は、図のようにつゆ受け容器の先端（手前又は奥のどちらか）に指をかけひろげるようにして引っぱってください。



# 日常の点検・手入れ②

## そ の つ ど

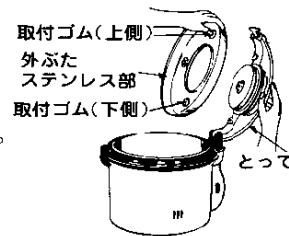
### ●外ぶた

- ステンレス部は、スポンジや布などやわらかいものを使い洗剤溶液で洗ってから乾いた布で水気を拭きとってください。
- 樹脂部は乾いた布で拭いてください。汚れのひどいときは、洗剤溶液を含ませた布で汚れを落した後、洗剤分を拭きとり、乾いた布でよく拭いてください。

#### 《ご注意》

- 特に中ぶた取付部の周囲、凸部は十分なお手入れをお願いします。

- 外ぶたステンレス部の取り外しは図のようにとってを持ち、ステンレス部に一方の手をかけ、親指で取付ゴムを押しながら引いてください。先ず下側を外し、同様に上側を外してください。
- 無理な外し方はおやめください。
- お手入れが終了したら、もどどうりにきっちりとはめ込んでください。



### ●つゆ受け枠

- つゆ受け枠の汚れはよくしぼった布で拭きとってください。

### ●外わく

- 乾いた布で拭いてください。汚れのひどいときは洗剤溶液を湿した布で汚れを落した後、洗剤分を拭きとり、乾いた布でよく拭いてください。

#### 《ご注意》

- みがき粉は使用しないでください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどでは、絶対に拭かないでください。もし拭かれますと、塗装がおかれますのでご注意ください。
- 外わくはぬれたままにしておきますと錆びることがありますので、いつもきれいに拭いてください。

### ●こんろ部

- こんろ部外側の表面は外わくと同じ要領で拭いてください。また銘板類は印刷が消えるおそれがあるため、タワシやクレンザーなどでこすらないでください。しる受けが汚れたときは、洗剤溶液を含ませた布で拭いてから乾いた布で水分を拭きとってください。

#### 《ご注意》

- こんろ部には自動消火装置と点火装置が組み込まれていますので、ぬらさないよう注意してください。
- しる受けをこんろ部から取りはずさないでください。
- 感熱部に米つぶ、食品屑などが付着しますと、正常に炊飯できませんので、つねに清潔に保ってください。

## と き ど き

## そ の つ ど

# 故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象	原因	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開け忘れ	○	器具せんにいったん閉じてからガス元せんを全開にする	15
ガス元せんの開きが不十分	○ ○ ○ ○		
器具せんの開け忘れ	○	器具せんを全開にする	15
器具せんの開きが不十分	○ ○ ○ ○		
器具せんの故障	○	点検・修理を依頼する	—
ゴム管内に空気が残っている	○ ○ ○ ○	点火操作を繰り返す	15
ゴム管の折れ曲り・つぶれ	○ ○ ○ ○	ゴム管の折れ、曲りを直す	11
ゴム管の摩耗・劣化		○ ゴム管を交換・先を切りつめる	5
点火装置の電極部の汚れ	○	汚れを拭きとる。それでも直らないときは点検を依頼する	—
点火装置のリード線接続不良	○	点検・修理を依頼する	—
点火装置の故障	○	点検・修理を依頼する	—
バーナーの炎口づまり	○ ○ ○ ○	つまりを取り除く。それでも直らないときは点検を依頼する	—
ノズルづまり	○ ○ ○ ○	点検・修理を依頼する	—
感熱部の汚れ		○ 汚れを拭きとる	14
感熱部の故障		○ 点検・修理を依頼する	—
ヒーター回路の不良		○ ○ ○ 点検・修理を依頼する	—
自動温度調節器の不良		○ ○ ○ 点検・修理を依頼する	—
外わく部のセット不良		○ 正しくセットしなおす	14

# 故障・異常の見分け方と処置方法 ②

現象	原因	処置方法	参照ページ
ガスもれ	かまにガスがつかく 保温中にひびくけが出る 保温したご飯の表面が水っぱい 保温したご飯の表面が乾燥する 保温したご飯の温度が低い 保温できない 早切れる 吹きこぼれがひどい こげがひどい 異常な音をたてて燃える 炎が著しく短く長い 炎が安定しない 点火しない・点火しにくい	点検・修理を依頼する	—
電源コードの断線		点検・修理を依頼する	—
電源プラグの差込み不足		電源プラグをコンセントに確実に差し込む	16
器具が傾いている		正しく設置し直す	10
外ふたが確実に閉っていない		外ふたを確実にセットする	14
中ふたが外ふたに確実にセットされていない		「使用手順(点火前の準備と確認)参照」	13
中ふたフロートの変形		「使用時のご注意(保温について)」の項参照	19
炊飯法誤り		「使用手順」参照	12
水量が適切でない		「使用手順(水加減)」の項参照	12
米粒の不揃い(粉末)		粒の揃った米を使う	12
電源プラグがコンセントに差し込まれていない		電源プラグをコンセントに差し込む	16
かま底の汚れ		汚れを拭きとる	13
かまと中ふたの密着が悪い		「使用時のご注意(保温について)」の項参照	19

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

# 長期間使用しない場合

各部の汚れを取除き、十分に乾燥してからほこりなどの異物が入らないようにビニールに包み、お求めになったときのパッキングケースに入れ湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

特にガス通路部分(ゴム管口など)には、ほこりが入ってガス通路をつまらせないようにしてください。

# アフターサービスのお申し込み

## サービスのお申し込み

- 26ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名……ガス炊飯電子ジャー
- (2) 品番

(例)

**(N)11-830(U)**

大阪ガス株式会社 **08**

- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)

## 転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

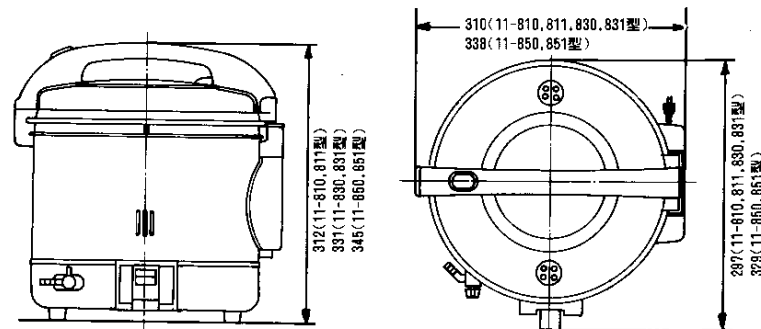
## 保証書について

- この器具には保証書がついています。

このガス炊飯電子ジャーは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

# 寸法図と仕様一覧表



品名		ガス炊飯電子ジャー		
コード		11-810, 811型	11-830, 831型	11-850, 851型
形式の呼び		RR-05VD	RR-07VD	RR-10VD
点火方式		圧電点火式		
炊飯量(ℓ)	最大	1.0	1.4	2.0
	最小	0.2	0.2	0.4
外形寸法(mm)		高さ312×幅310×奥行297	高さ331×幅310×奥行297	高さ345×幅338×奥行329
重量(kg)		4.9	5.2	6.5
ガス接続(mmφ)		9.5ゴム管		
付属品		しゃもじ立て・しゃもじ・計量カップ		
ガス消費量	都市ガス6C(kcal/h)	大火1200 小火 650	大火1300 小火 650	大火1700 小火 700
	都市ガス13A(kcal/h)	大火1200 小火 650	大火1300 小火 650	大火1700 小火 700
	都市ガス6A(kcal/h)	大火1200 小火 650	大火1300 小火 650	大火1700 小火 700
	LPガス(kg/h)	大火0.1 小火0.056	大火0.11 小火0.056	大火0.14 小火0.075
保温時の消費電力(W)		12~68	12~68	31~95

## おねがい

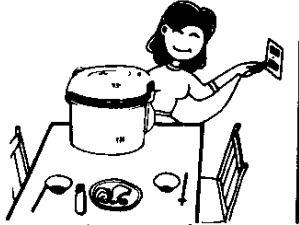
ガスくさいときは、お部屋の元せんを開め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。



# ご使用前に必ずお読みください。

## 正しく保温していただくために

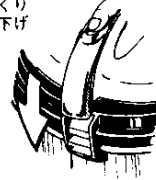
保温中、食事中は必ず電源プラグを差し込んだままにしてください。



- 保温中、本体を移動させる場合でも電源プラグはすぐに別のコンセントに接続し、保温を続けてください。

保温中は外ぶたを確実にしめてください。

ゆっくり  
押し下げ



- 中ぶたが、外ぶたにセットされていることを確認し、外ぶたを確実にしめてください。
- 保温効果を高めるためにも、外ぶたの開閉はできるだけ少なくしてください。

保温時間は12時間までにしてください。



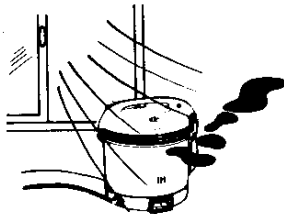
- 保温時間が12時間以上になりますと、イヤなおいがしたり変色しやすくなります。
- ご飯はできるだけ早目にお召しあがりください。

冷えたご飯の保温はやめてください。



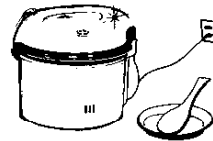
- 保温効果が下がり、イヤなおいのもとになります。
- 保温しているご飯の上に別のご飯のつぎたしはやめてください。

器具に直接風をあてないでください。



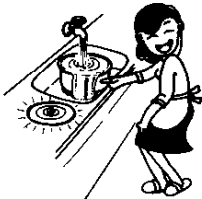
- 器具に直接風のあたる場所では使用しないでください。

保温中、しゃもじは外へ出してください。



- 保温中はしゃもじをかまの中に入れてください。イヤなおいのもとになります。
- しゃもじは、付属のプラスチック製しゃもじをお使いください。

お手入れは確実にしてください。



- ご使用後は、かまや中ぶた、露受け容器は必ず水洗いして、ご飯粒やおねぼが残っていないようにしてください。
- 特に中ぶたのフロートの下はよく洗ってください。
- 外ぶたの裏はぬれぶき等できれいに拭いてください。

ご飯以外の保温はしないでください。



- みそ汁、スープ等のご飯以外のものを保温しますと、イヤなおいのもとになります。

## 正しく保温していただくために

ご飯をほぐしてください。



- メインバーナーが消火してから、15分以上むらした後、必ずご飯をほぐしてください。

まぜご飯、赤飯の保温はしないでください。

- まぜご飯、赤飯を保温しますと、イヤなおいのもとになります。

- 万一、電源プラグの差し忘れ等をされた場合は、それ以後の保温でイヤなおいがつくおそれがありますので、次の炊飯をする前に、下記と同じ要領で、自動消火するまで煮沸してください。

## 万一イヤなおいがついたとき

よく水洗いしてもイヤなおいがついたときは、次の要領で、かまや中ぶたの煮沸を行なってください。

- (1) かまに付属の計量カップ一杯の水を入れます。
- (2) かまを本体にセットし、炊飯の要領で点火し水がなくなって自動消火するまで煮沸してください。(約10~15分)
- (3) (2)で自動消火した後、かまや中ぶたをよく水洗いしてください。  
※消火直後は、かまや中ぶたは、あつくなっていますので取扱いには十分に注意してください。

- 上記の煮沸をしていただくとともに正しい保温のしかたを、もう一度お確かめいただき、イヤなおいが再びつかないように正しくお使いください。
- 正しく保温していただくための各ご注意点が守られていない場合は、煮沸を行なっても再びイヤなおいがつくことがあります。
- 1回の煮沸で完全ににおいがとれない場合は、煮沸をもう一度繰り返してください。

